

風趣点景

管内滝巡り⑩



遠野市「長瀨の滝」

段瀑/推定落差・10メートル



写真・文/高沢翔

西和賀町をメインに風景写真を撮っている写真家。写真絵葉書を7作発行。平成21年～23年までJAいわて花巻監事を1期務めた。本名：高橋定雄(西和賀町沢内在住) ホームページ「高沢翔写真館」<http://esuke.sakura.ne.jp>

管内滝巡り⑩で紹介の遠野市「荒川不動ノ滝」に近く、荒川牧場そばの滝です。流れが何段かに分かれいろいろな角度から撮影が楽しめます。瀨(とろ)の文字は、深い淵で流れの静かな所という意味だそうです。この滝は水量豊かです。急流でした。この滝のやや近くには「小鳥瀬の滝」という名の静かに流れる小さな滝があります。



編集後記

From Editor's



毎

日書き綴ったノート。何気なく開いたページにいたのは広報1年目のがむしゃらすぎる26歳の私。ふと目に入った「未来の自分よ、今の私の情熱より誇れるもの持っている？」という言葉。何を偉そうに…。この3年間、ペンの先まで悩んだり泣きげもかいた。でも取材先で出会う強い思いや笑顔や言葉が何度も心に火を灯し挑戦する情熱をくれた。過去の自分に即答する、私の誇れるものは「この出会い、尽くしたいと思える人々だ」。新たな年度が始まる。力量を蓄え次は私が力になる番。農協人として未来の私が誇れる仕事を、全力で。「大内」

寒

さ厳しく、ときに吹雪吹き荒れる岩手の冬。雪が少ないと心配されていたが、今年に入りやっとな積もった。雪かきを思うと大変なことだが、今月号の表紙に登場している凍み大根を始め、この土地ならではの気候を活かし農業を営んでいるのも事実。そして、サクラもこの寒さがあるからこそ春に美しい花を咲かせるのである。確かに寒さは厳しいが、多くの恵みをもたらす冬。この寒さに負けず、さまざまな力を蓄え来年度を迎えたい。

「佐藤」